

台湾松本清股份 有限公司

トップメッセージ

董事長総経理
林 保範



PB商品を含めた松本清独自商品の輸入・開発・展開を推進し、他社との差別化を加速させる

2018年1月、台湾の大手流通企業である、臺隆工業股份有限公司と合併会社を設立し、同年10月に台湾1号店をオープンしました。翌年11月の合併解消後、株式会社マツモトキヨシグループの子会社として、台湾では唯一の100%日系ドラッグストアとなり、2026年3月現在、台北市周辺を中心に23店舗を運営しています。台湾は人口125万人以上の直轄市が、台北市、新北市、桃園市、台中市、台南市、高雄市の6つありますが、現在、台南市以外の5都市全てに出店しています。高雄市の中心的な商業施設に2店舗出店し南部における知名度を拡大しています。また世界最大手の半導体企業(TSMC)をはじめとした多くのIT関連企業、工場が集積している新竹市においても、2019年に出店しており継続して高い業績を上げています。

エリア別
店舗数

計23店舗

台北 11 店舗 新北 4 店舗 桃園 3 店舗
新竹 1 店舗 台中 2 店舗 高雄 2 店舗

※2026年3月末現在

名 称	台湾松本清股份有限公司 Matsumotokiyoshi (Taiwan) Limited
所 在 地	台北市大同區民權西路104號9樓之5 9F.-5, No.104, Minquan W.Rd., Datong Dist., Taipei City 103, Taiwan
会社設立	2018年1月

事業計画と施策

台湾進出から9年目を迎えますが、うち3年間は他国同様、コロナ禍による厳しい時期を経験しました。当社はそのような状況下でも着実に店舗数を拡大してきました。台湾でのブランド認知度向上と、日本の商品、PB商品を広めるためにも、まずは店舗数を増やす事を優先とし、取組みを進めています。アジア屈指の世界都市でもある台北エリアのドミナント化を図り、同時に中南部主要都市へも出店を進めます。

また、利益の源となるPB商品の輸入、SKU数（取扱い商品数）をさらに拡大し、それらと並行して台湾製PB商品の開発・発売を増やし、粗利益率の向上を目指します。これらの施策により、他社との差別化を図り、台湾でも日本でもお客様に「松本清」を選んでいただけるよう事業を推進してまいります。

今後の方針

台湾では、化粧品の輸入に関する制度が大きく変更されようとしています。製品の安全性と品質管理を強化することを目的とした「PIF(Product Information File:製品情報ファイル)」制度が2026年7月より一般化粧品の輸入に対しても本格的に運用されます。PIFとは、製品に関するあらゆる情報を集約した書類です。台湾で化粧品を販売する事業者は、製品ごとにこのPIFを作成し、台湾の当局(TFDA:衛生福利部食品藥物管理署)からの立ち入り検査に備えて保管することが義務付けられます。この制度の本格運用により、正規品以外の輸入化粧品は市場から淘汰されると見込まれます。当社は、この制度転換を好機と捉え、日本との連携を強化することで当社でしか販売できない正規品を増やし、台湾市場におけるプレゼンス確固たるものにしてまいります。

